

十一月中旬になるとめがね会館前から東西に約300mの銀杏並木が黄金色に色づきます。歩道も落葉で黄色の絨毯のようになり道行く人々の心を和ませてくれます。

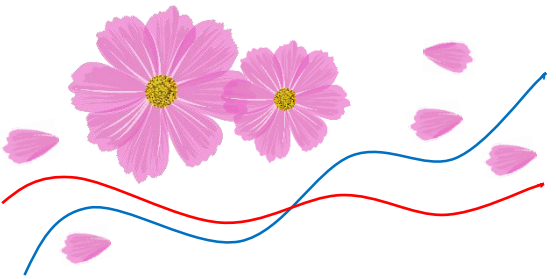
『銀杏並木 東鯖江』



あきぞら
秋空に

きいろ
黄色がまぶし

いちよう なみき
銀杏並木

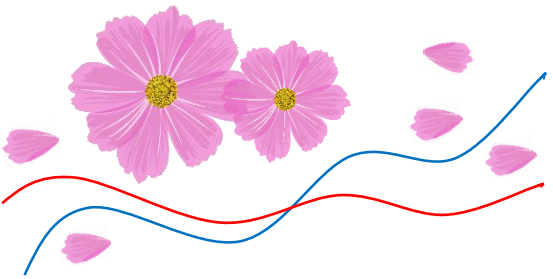


禿すみさんは明治九年（1876年）五郎丸町の浄覚寺に生まれました。仏教に根ざした女子教育の重要性を感じ、父了教さんと共に「婦人仁愛会教園」（後の仁愛女子高等学校）を設立し、自ら道徳、国語、英語を教え、情操豊かな婦人の育成をめざし女子教育一筋の生涯を送りました。

『禿すみ 五郎丸町』

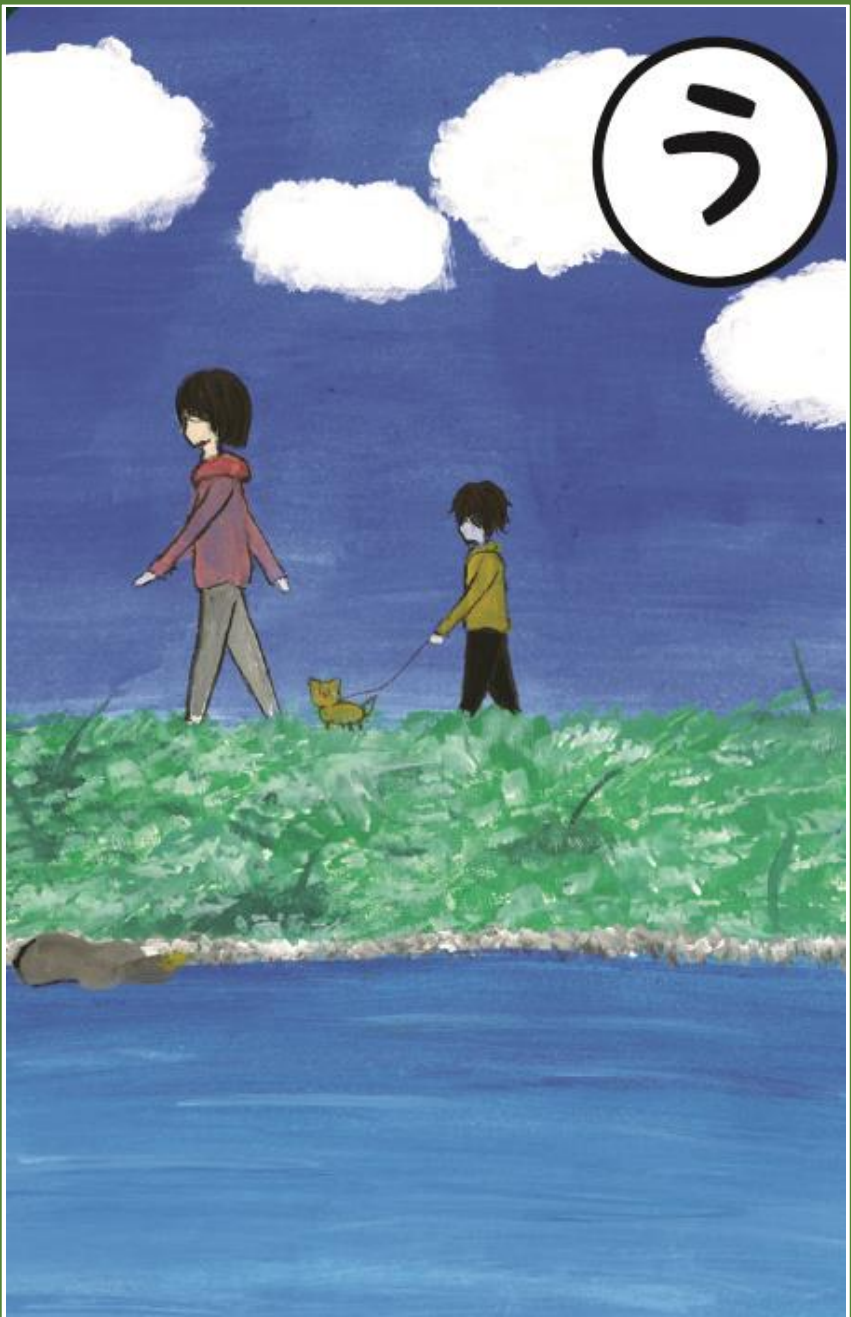


い
一生を
いっしょう
女子教育に
じょし
きょういく
とく
禿すみさん



定次町から新横江二丁目、東鯖江を流れる
穴田川沿いには、桜、ツツジ、アジサイ、ムクゲ、
コスモスなど季節の花々が咲きます。川沿いの
遊歩道は子ども達からお年寄りまで朝夕の散
歩などを通じ憩いの場所となっています。

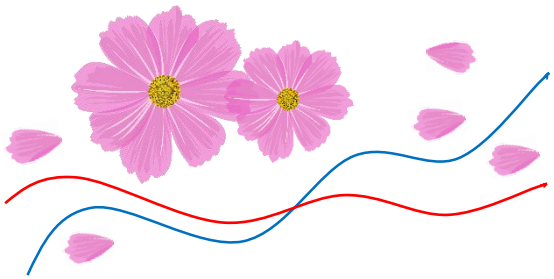
『穴田川 新横江地区』



ウォーキング

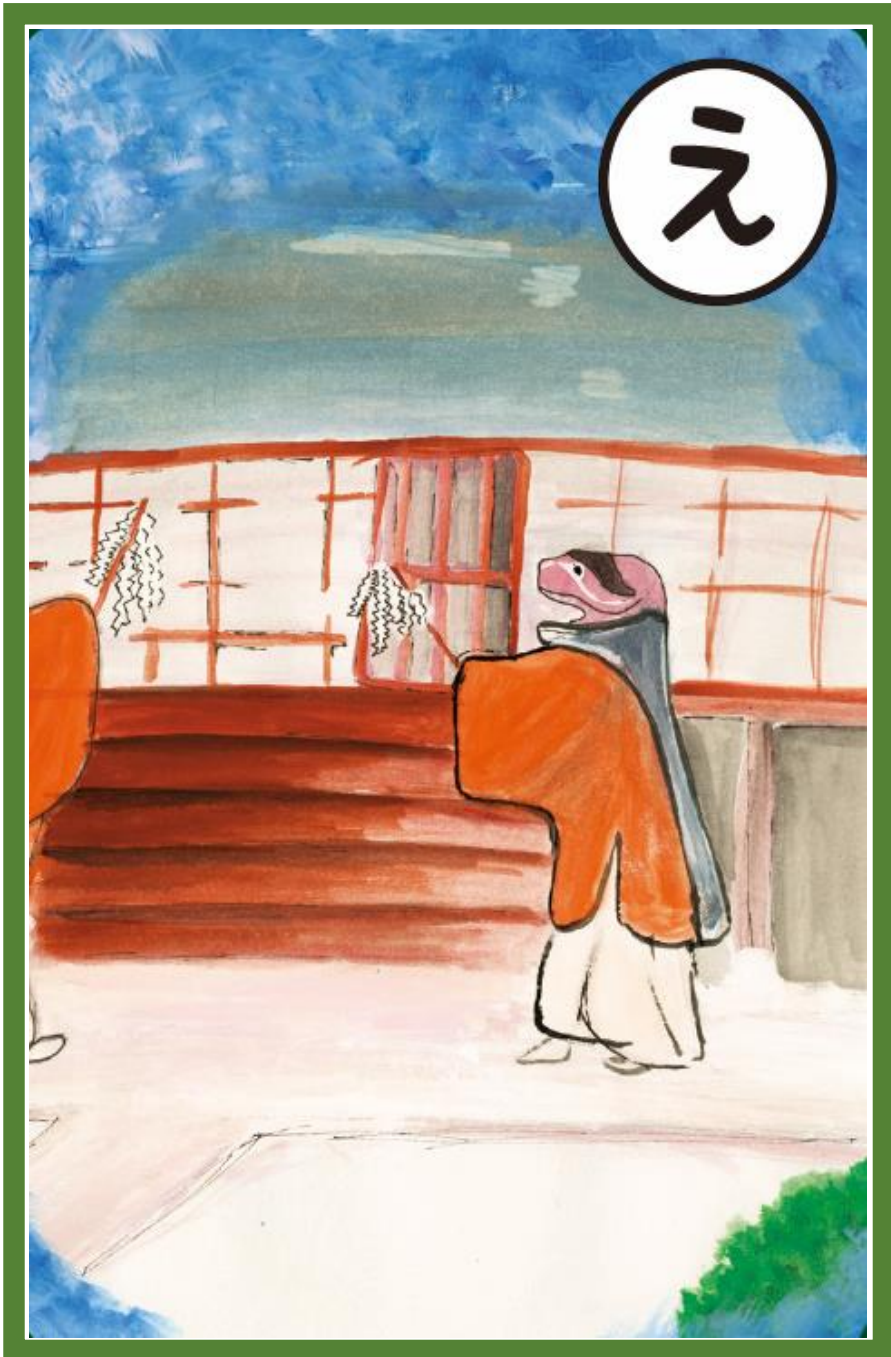
こころ
心さわやか

あな
だ
がわ
穴田川



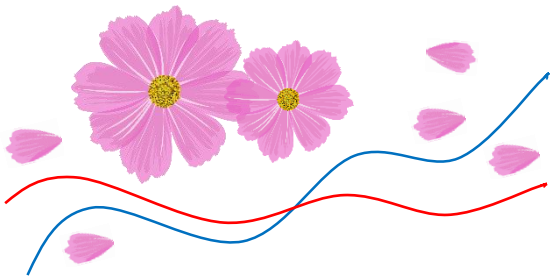
田植えが終わった六月、昔から五郎丸町と定次町に伊勢太神樂の一行が訪れ、家々をお祓いに廻ります。午後から圓誠寺の境内でおこなわれる神樂舞を町内の子どもから大人までが楽しみにしています。

『圓誠寺太神樂 五郎丸町』



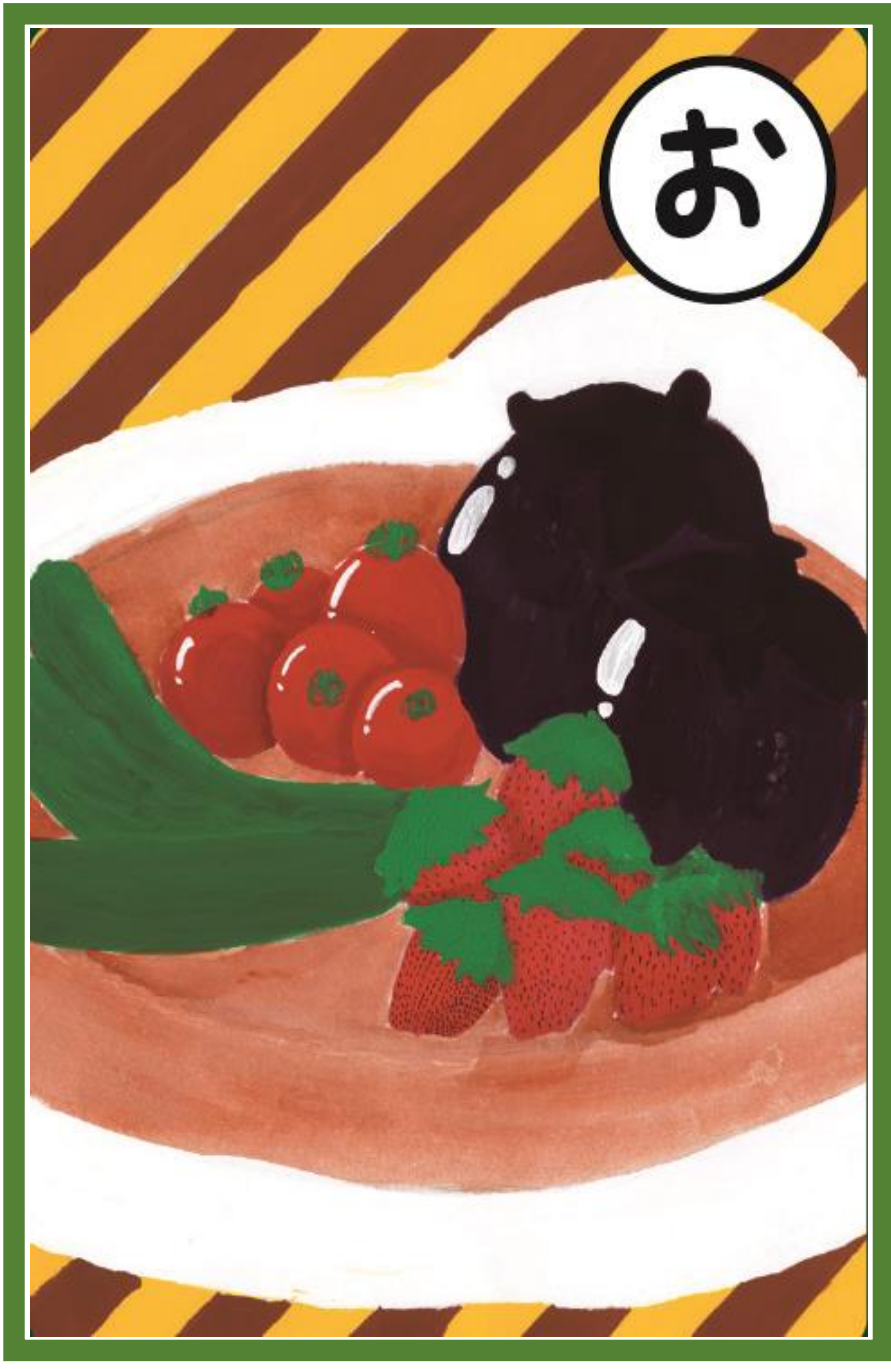
え
圓誠寺
豐作願う
大神樂

えんじょうじ
ほうさくねがう
だいかぐら



新横江の地場野菜として、イチゴ、キュウリ、吉川ナス、越のルビー（トマト）等を栽培していて美味しいと市場でも好評です。又、家庭菜園で作る野菜は地元の方の皆さんの自慢です。

『地場野菜 各町内』



お
天下^{てんか}一の^{いち}
地^じ場^ば野^や菜^{さい}
味^{あじ}
おふくろの